

未来へ(東中だより)

第10号 令和4年9月13日

吉野ヶ里町立東脊振中学校 校長 森田 直樹

学校教育目標 未来へ
「知性・感性・耐性」を
共に高める生徒の育成



TEL:0952-52-2529 Fax:52-8184

https://www.education.saga.jp/hp/higashisefuri-j/

横と縦のつながり

成長の2学期に向けて

東中生みんなで頑張る

HGS!

H...表情豊かに よい挨拶!

G...学力高める 時間の管理!

S...精一杯の 自問清掃!

先日 道徳に関する月刊誌を読んでいると、「横の教育」「縦の教育」という言葉が目に入りました。横のつながりを重視する教育と、縦のつながりを重視する教育のどちらが大切かということが話題に上がっていました。結論から言うと、どちらも大切だということです。私もそう思います。

横のつながりとは、同時代に生きている友人、家族、隣人、地域社会の人々などとのつながりを言います。連携して助け合って生きていくことは、円滑に社会生活を行い、課題を解決し目標を達成していくためには欠かせないことでしょう。先週の生徒集会では、生徒会学習の部長さんが校則アンケートについての回答を行いました。より良い生活を送るために同世代の生徒同士が考えを出し合っていくことは、とても有意義なことだと思います。学習部からは、前回の月一満点テストの努力者や優れた成果を残した学級を称え、生徒自らが学習に向かう機運を醸成してくれていました。

情報社会の今日では、ネット・ショッピングが普通に行われています。私も利用しますが、そこには多くの関係する人々がいることを感じます。コロナ下では特に、製造・販売・流通にかかわる人々に大変感謝しています。また、SNSが不特定多数を含めた横のつながりを増幅しています。「いいね」を代表とする共感的な理解が、人々の満足感や自己肯定感を支えているのも事実です。(ただし、これについては現実のコミュニケーションには勝てないことも留意しないといけません。「無責任な言動・拡散」「誹謗・中傷」が大きな問題になっていることも学ぶ必要があります。)

縦のつながりは、過去から現在へのつながりとも言えます。現代の生活に欠かせない電気・水道・通信などのライフラインや警察・消防・教育などの公共サービスは、無数の先人たちの叡智と努力のたまものです。日本にもかつて大きな戦争があり、戦中・戦後を通して並々ならぬ努力をされてきた世代があります。そのようなことを考えると、9月19日の「敬老の日」は、ただの休日であってはならないような気がします。

職員会議で「文化発表会」の提案があり、生徒の文化発表会実行委員会が動き出しました。私は会議の折に、「文化とは何か。本質的な問いから始めてほしい。」と話しました。人間が叡智を結集し努力を重ねて精神的・物質的に豊かにしてきた生活様式や作品を文化とするならば、そのような思いを大切にしたいと願っています。

前述の月刊誌では、「縦の教育」が比較的少なくなっているのではないかという論調でした。樹木に例えると、根や幹が縦のつながりということです。横のつながりを大切にしつつ、学習の根本、自立のための根幹を意識した教育活動と学習活動を行って、充実した成長の2学期にしていきたいと思っています。



図書カードを頂きました。

今年も福岡市水道サービス公社から、古賀敏正教育長様を通して、6万円の図書カードを頂きました。さっそく図書広報部で「リクエスト図書募集」の取組が始まりました。読書の秋に、多くの本に親しんでもらいたいです。



☆今後の予定☆

- 9/11(日)部活動中止(～9/15)
- 9/12(月)リモート授業(給食・下校後)
- 9/14(水)前期期末テスト 給食なし
- 9/15(木)前期期末テスト 給食なし
- 9/16(金)前期期末テスト 薬物乱用防止教室
- 9/20(火)地区新人大会激励会
- 9/22(木)フッ化物洗口 1・2年工場見学
- 9/24(土)地区中体連新人大会
- 9/26(月)教育相談(～30)
- 9/29(木)フッ化物洗口

体験授業と新入学説明会

小学6年生をむかえて

9月2日に東脊振小の6年生をむかえて、体験授業と新入学説明会を行いました。

6年生は約20名ずつが美術・英語・数学の3つのコースに分かれて中学校の授業を体験しました。

美術では様々な形のパーツを組み合わせてものや動物などの新しい形を作り上げる授業でした。

英語では、ALTの先生の英語を聞いて犯人捜しを行うゲームや自分の好きなものを表現する授業が行われました。

数学では、トランプを用いて「式の計算」の基礎を学びました。黒のカードをプラス、赤のカードをマイナスと設定しての正の数・負の数のゲームで、あっという間に理解が深まり、計算ができるようになっていました。

新入学説明会の中では、校長のあいさつの後、生徒会役員が、学校の説明を行ってくれました。学校納入金のこと、入学式のこと、自転車通学や校則についてなど50分程度の説明の後、6年生と保護者には部活動見学を行っていただきました。



月一満点テスト

数学

生徒会学習部の取組として9月9日に「月一満点テスト」が行われました。

今回は数学が課題でした。各自でタブレット端末のドリルパークで学習を繰り返した問題から、学習部が10問をピックアップしてのテストでした。今回も多くの満点者が出ることを期待しています。



リモート授業

9月12日にリモート授業を行いました。不測の事態を想定して、ネットでの授業ができるように、本校では定期的にリモート授業を行っています。今回は定期テストを前にした説明や演習を中心とした授業を学級ごとに行いました。教師の活用力も上がってきました。



2年マナー研修

9月1日の5時間目に2年生を対象とした「マナー研修」を行いました。今年も結婚式場の「ララシヤンス・ベルアミー」から講師をお迎えしての研修となりました。コンシェルジュの岩坂怜希氏が、相手の心に寄り添った言動をすることの大切さを話され、「語先後礼」のおじぎのしかたなどを、実際にご指導いただきました。

10月の職場体験学習で、今回学んだことを生かしてくれるものと思います。



2年さくらんぼプログラム

9月1日の6時間目に、2年生を対象に「さくらんぼプログラム」を実施しました。このプログラムは、「SOSの出し方教育」であり、教職員も町の地域子ども・子育て支援事業の一環として、毎年研修を受けているものです。

NPO法人にじろグループの天田瑞恵さんら2人の講師が、自尊感情の持ち方、命の大切さ、嫌だと思ふことを嫌だと言うことの大切さ、相手への思いやりなどを、ロールプレイ(役割演技)を交えて、ご講話いただきました。

9月8日には性教育教室も行っており、ものごとを科学的に知り、正しい判断と適切な行動ができるようにと願っています。

生徒がとても真剣だったとのコメントを頂き、嬉しく思いました。



<感謝状と修了証>

○24時間テレビ45「愛は地球を救う」街頭募金ボランティア 感謝状

石川和樹 中山 允 大園樹璃 陣ノ内すみれ
嘉村 媛 原 優佳 原口ひより 高橋真由
小西奏太 築山侑人

○町社会福祉協議会ボランティア養成講座 修了証

高橋真由 富永大翔 中山 允 石川和樹
陣ノ内すみれ 原 優佳 嘉村 媛 中山靖嗣
大園樹璃 原口ひより 築山侑人 小西奏太
中村颯希